

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ州)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2011年9月30日	2011年9月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

## 報告要旨

### 1、邦人対象の治安情報

- A、 一般的傾向
- B、 地区別・犯罪集計結果：補足文書1
- C、 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書2

#### A、一般的傾向

今月は特に、個人宅やスーパーなどを狙った盗難事件が圧倒的に多く見られました。特に、偽の職員の手口を使ってお年寄りの自宅に入り宝石類や銀行カードなどを盗む犯行が5件報告されています。続いてスーパー、タバコ屋、宝石店などを狙った強盗事件、個人宅への押し入り強盗、路上での携帯電話やハンドバッグを狙った個人に対する暴力窃盗事件も目立ちました。

### [補足文書1]

#### B、地区別 治安情報集計結果

#### 2011年9月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アノ県	イゼール県	ロワール県	合計
殺人事件・凶悪事件						1		1									2
すり										1							1
空き巣・盗難	3		2	2		2	2			2	2	3	5	1			24
置き引き																	0
引ったくり		1				1						1	2				5
万引き		1															1
強盗・暴力窃盗	1	2	2	1			3	2	5	1		3		1			21
窃盗(車・自転車)							1	1	1						1		4
カー・ホームジャック																	0
車内盗難								1									1
猥褻行為・強姦			1														1
いたづら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為			1		1				2	1		2		2			9
詐欺(カードなど)																	0
拉致・誘拐																	0
破損・放火		1			1	1			1			1					5
ストーカー																	0
麻薬取引・所持		1					1	1	5								8
飲酒/無免許運転					2			1	3								6
夫婦間暴力			1						3								4
軽犯罪																	0
<b>合計</b>	<b>4</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	<b>6</b>	<b>23</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>13</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>92</b>

備考欄：  
 リヨン東→Meyszieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons  
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon  
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison  
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

\* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

## [補足文書 2]

### C, 多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

相変わらず、路上で携帯電話などを狙った窃盗事件が報告されています。犯人がナイフやドライバーで脅したり殴ったりするケースが多いほか、数人の少女による暴力を伴う犯行やひったくりも増えています。怪しいグループが近づいてこないかなど、周囲に目を配り十分警戒してください。

個人宅への押し入り強盗も報告されています。出勤時や帰宅時に不審な者が家の近辺にいないか注意しましょう。自宅にいる時も、戸締りをしっかり行い、見知らぬ人が尋ねてきたら身元が確認できるまでドアを開けないなど、十分な注意が必要です。

#### ① 空き巣、盗難

- リヨン 7 区に住む 87 歳のお年寄り女性が偽の警察官の手口による盗難の被害に遭い、宝石類と財布を盗まれた。（プログレ紙 9 月 1 日）
- 9 月 1 日午後、リヨン 6 区で、2 人組の男がかばん引ったくりの現行犯で逮捕された。（プログレ紙 9 月 2 日）
- 9 月 1 日夜 6 時半頃、リヨン 3 区で、16 歳の若者 2 人組が若い女性の携帯電話を奪って逃走したが、公共交通治安警察に見張られていたためその後間もなく逮捕された。2 人組はこれまでも、特にリヨン 3 区のバスの停留所や国鉄駅近辺で犯行を繰り返していた疑い。（プログレ紙 9 月 3 日）
- 9 月 1 日、リヨン 4 区に住む 92 歳のお年寄りの女性が偽の水道局職員と警察官の手口を使った盗難の被害に遭い、宝石類と現金を盗まれた。（プログレ紙 9 月 3 日）
- 9 月 3 日夕方、Collonges-au-Mont-d'Or で 2 人組による空き巣の事件が発生したが、買い物から戻ってきた住民が後を追いかけて、近所の住民の助けもあり、犯人らは間もなく捕まった。盗難品は被害者に返された。（プログレ紙 9 月 6 日）
- 偽の水道局職員・警察官の次は、偽の香水販売員。Décines で、80 歳のお年寄りがこの手口による盗難の被害に遭い、身分証明書、銀行カード、郵便貯金手帳を盗まれた。（プログレ紙 9 月 8 日）
- 9 月 8 日午前 0 時 15 分頃、18 歳の男と 17 歳のホームレスがリヨン 6 区で 28 歳の女性から携帯電話を盗んだばかりのところを警察に逮捕された。同じ頃、やはり 6 区で、前日に携帯電話を盗まれた被害者に見つかった別の 2 人組が逮捕された。（プログレ紙 9 月 9 日）
- 9 月 10 日夜、Villeurbanne で、2 人組がスクーターを盗もうとしていたところを現行犯で警察に逮捕された。（プログレ紙 9 月 12 日）
- 9 月 10 日深夜、Miribel（Ain 県）のスーパーに空き巣 3 人組が侵入し、売上金を盗んで逃げた。被害額は少ないもよう。（プログレ紙 9 月 13 日）
- 10 日ほど前から、Villeurbanne 市の警察署に銀行カード盗難と不正使用に関する訴えが相次いでいた。そのため、同市にある数箇所の銀行近辺で見張り態勢が敷かれていた。9 月 11 日、ある ATM の近くで 2 人の女が現行犯で逮捕された。1 人が紙幣を無くしたように装い、被害者と話をしている間にもう 1 人が被害者の財布を盗むという手口だった。犯人 2 人の所持品および車内からも別の銀行カードが見つかっており、すでに 4 人の被害者（お年寄りあるいは身障者）が確認されている。（プログレ紙 9 月 14 日）
- 9 月 14 日午後 1 時頃、Saint-Priest にある輸送会社で盗難。4、5 人の犯人が小型トラックで乗りつけ、テレビの入ったパッケージを盗んで逃げた。（プログレ紙 9 月 16 日）
- 9 月 18 日午前 4 時頃、Vaulx-en-Velin にあるスーパーCarrefour に 2 人組の空き巣が入り、ショーケースの中の宝石類や現金を盗んで逃げた。（プログレ紙 9 月 19 日）
- 9 月 16 日、リヨン 7 区で、お年寄りが自宅で偽の看護婦の手口による盗難の被害に遭った。当日朝、看護婦で様子を伺いに来たという口実で 1 人の女性がお年寄りの家を訪ね、その後偽の警察官が尋ねてきた。2 人が帰った後、被害者は原因 350 ユーロなどが盗まれていることに気が付いた。（プログレ紙 9 月 20 日）
- 9 月 22 日午後、Villeurbanne で、同市に住む 86 歳のお年寄り女性が「お隣さんの妹」の手

口による盗難の被害に遭った。妹を装った女性が被害者宅のドアベルを鳴らし、被害者の注意を引いている間に共犯者がアパートに侵入。2人が帰った後、被害者は宝石類が盗まれているのに気が付いた。(プログレ紙9月24日)

- 9月28日、リヨン4区で、同区に住む86歳のお年寄りが保守作業員の手口を使った盗難の被害に遭い、ブロンズの骨董品を盗まれた。(プログレ紙9月30日)

## ② 強盗・脅し窃盗

- 9月2日午前6時前頃、リヨン9区にあるスーパーCasinoにショットガンと斧を持った男2人組が押し入り、店員2人を脅して金庫を開けさせ、現金を奪って逃げた。被害額は5000~10000ユーロにのぼる。(プログレ紙9月3日)
- 9月4日午前1時頃、リヨン3区で、店を閉めたばかりのタバコ屋の店員に男が襲いかかり、経営者の女性が殴られた。犯人は経営者を脅して売上金1万6000ユーロあまりを奪い、そのまま逃走した。(プログレ紙9月5日)
- 9月7日午前3時頃、Villeurbanneで、65歳の夫婦の自宅に武装した覆面の2人組が押し入り、夫をベッドに縛りつけて、妻を殴るなどして脅すと、数百ユーロ相当の現金、宝石類を盗んだ。(プログレ紙9月8日)
- 9月6日夜10時45分頃、リヨン7区で、ATMで現金を引き出そうとしていた45歳と51歳の2人の女性がピストルを持った男に「400ユーロを引き出せ！」といきなり脅された。驚いた拍子に被害者が犯人を押し、持っていたピストルが落ちて発射したため犯人は車に乗って逃げた。(プログレ紙9月8日)
- 9月8日午前0時15分頃、17歳の若者がリヨン9区で窃盗の被害に遭い、iPadを盗まれたが、犯人2人のうち1人は警察に逮捕された。(プログレ紙9月9日)
- 先週Saint-Priestで2人の少年からMP4と現金を脅し取った2人の若者が、犯行後間もなく逮捕された。犯人らは盗みの後2人を団地の地下駐車場に連れ込んで殴った疑い。(プログレ紙9月13日)
- 9月13日深夜、リヨン7区で、1人の男性とその友人が自宅のアパートにいたところ、ドアベルが鳴り、男性がドアを開けると覆面の4、5人組が押し入ってきた。犯人らは2人を殴って縛りつけ、ピストルで脅して銀行カードを奪い暗証番号を聞き出してから逃走した。(プログレ紙9月15日)
- 9月14日、リヨン3区パール・デュー地区にあるギャラリー・ラファイエットで強盗。午後1時頃、同店の入口の前にスクーターが止まり、ヘルメットをかぶって手袋をし、ピストルと鉄棒を持った運転手と相乗りの男が店内に入ると、ゴールド製の宝飾類の入ったショーケースを壊してアクセサリを奪って逃げた。店の警備員らは犯行を食い止めることはできなかったものの、犯行現場近くにいた12人ほどの店員の安全を確保するため全員床にうつ伏せになるよう指示を出した。3分足らずの素早い犯行で、犯人らは店内の配置をよく知っていたと思われる。(プログレ紙9月15日)
- 9月16日夕方6時半頃、リヨン4区のタバコ屋に、カッターナイフを持った覆面の2人組が押し入り、経営者を脅してレジの現金を要求。犯人らは次に金庫を開けるよう要求したが、金庫のある部屋に女性の友人がいることから経営者が拒否したため、カッターナイフで経営者を切りつけると数百ユーロを奪って逃げた。(プログレ紙9月17日)
- 9月23日夜10時15分頃、Tassinで、通行人の女性が見知らぬものにナイフで脅され、ハンドバッグを奪われた。犯人はその後バス停にいた別の女性も脅したがうまくいかず、そのまま逃げた。(プログレ紙9月25日)

## ③ 暴力・窃盗事件

- 少女による暴力を伴う窃盗の犯行が増えている。9月10日夜7時半頃、Caluireで、16歳と18歳の少女が通行人に跳びかかり、かばんをひったくって中にあった携帯電話とiPodを盗むと、かばんをゴミ箱に捨てて逃げた。パトロール中の警察官が2人の後を追い、1人は間もなく捕まり、もう1人も翌日自宅で逮捕された。(プログレ紙9月12日)
- 9月10日深夜、リヨン2区で、若者2人組が携帯電話を使っていた男性から電話を奪おうとしたが拒否されたため、持っていたドライバーで肩を差した。幸い被害者に怪我はなかった。被害者を助けようと駆けつけた通行人はかばんをひったくられそうになった。2人組は間もなく通報を受けて駆けつけた警察官に捕まった。(プログレ紙9月12日)
- 9月11日深夜、Vénissieuxで、20歳から22歳の若者3人組が19歳の若者を殴って携帯電話

- を奪ったばかりのところを逮捕された。(プログレ紙 9月 13日)
- 9月 16日夜、59歳の商店経営者の女性が、銀行に売上金を持って行く途中に覆面の 2人組に 2000ユーロの入ったかばんをひったくられた。犯人はそのまま逃走。被害者に怪我はない。(プログレ紙 9月 20日)
  - 9月 20日夜、31歳の不法滞在者の男が Vaulx-en-Velin で 19歳の男性から腕時計と携帯電話と現金を奪い地面に押し倒して逃げたが、その後間もなく逮捕された。(プログレ紙 9月 22日)

#### ④ 脅し・暴力

- 9月 4日夕方、Villeurbanne の中心街で、1人の男がアパートの窓から家電製品やコンピュータなどを路上に投げ捨て、路上駐車してあった車 4台などが破損する事件があった。その直前に、男は近所の店の経営者と喧嘩になり、経営者に暴力を振るっていた。近所の住民によるとこの男の暴力的な態度や脅しはこれが初めてではない。(プログレ紙 9月 5日)

## 2.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

## 3.在留邦人の被害事例

ローヌ＝アルプ州における被害報告は特になし。(在リヨン出張駐在官事務所ソース)

## 4.リヨン、ローヌアルプ州の今月の出来事

- Vaulx-en-Velin で、23ヶ月の小児がアパートの 6階の窓から転落して死亡した。リヨン周辺でのこのような事件は今年でこれが 3件目。注意をしても、ほんの数秒目をはなした隙に起こる可能性がある。今回の事故では、窓の手前に椅子が置いてあり、雨戸は閉まっていたが子どもが手で押し開けることができた。

フランスでは、子供が窓から転落する事故は年間 250件で、死亡するケースは 10%、後遺症が残るケースが 40%にのぼる。今に始まった問題ではないが、夏の間には発生件数が増加する。(プログレ紙 9月 19日)

## 4.その他の情報

インフルエンザ：

9月 29日から、薬局でインフルエンザ予防接種ワクチンが市販される。国民衛生当局は、A型インフルエンザ (H1N1) が予想に反して大流行しなかった結果、予防接種に消極的な国民、特にリスクの高い人に対して、予防接種を受けるよう説得しなければならない。

昨日 (9月 23日) スタートしたインフルエンザ予防接種キャンペーン (来年 1月 31日まで) の折に、ノラ・ベラ厚生担当大臣は、「昨年冬の予防接種率は 52パーセントで、その前年 (2009-2010年度) の 60パーセントを下回った」と述べている。当局では、リスクの高い国民層 (65歳以上、心機能・呼吸機能不全、ぜんそく患者、血清反応陽性者、過去に脳卒中を発症した人および特定重傷慢性疾患など) において 75パーセントの接種率を目指している。